参考資料　3

河川整備計画　（大臣管理区間）

策　定　報　告

○阿武隈川（あぶくまがわ）水系河川整備計画（平成１９年3月３０日策定）
○岩木川（いわきがわ）水系河川整備計画　（平成１９年3月３０日策定）
○鳴瀬川（なるせがわ）水系河川整備計画　（平成１９年8月　3日策定）

平成 19 年　8 月

東 北 地 方 整 備 局

事業評価実施要領及び細目について

『国土交通省所管公共事業の再評価実施要領』　第４　１項（4）

H15.3.31　国土交通事務次官通知

河川事業、ダム事業については、河川法に基づき学識経験者等から構成される委員会等での審議を経て、河川整備計画の策定、変更を行った場合には再評価の手続きが行われたものとして位置付けるものとする。

『河川局所管公共事業の再評価実施要領細目』　第４　１項（3）

H16.3.30 国土交通省河川局長通知

実施要領　第４　１（4）の規定に基づき河川整備計画の策定、変更により再評価の手続きが行われた場合には、その結果を事業評価監視委員会に報告するものとする。

阿武隈川河川整備委員会　名簿（12名）

区　分	氏　　名	所　　属　　等
	井口（イグチ） 経明（ツネアキ）	岩沼市長
	加藤（カトウ） 徹（トオル）	宮城大学　食産業学部 環境システム学科　教授
委員長	澤本（サワモト） 正樹（マサキ）	東北大学大学院 工学研究科　教授
	鈴木（スズキ） 浩（ヒロシ）	福島大学 共生システム理工学類　教授
	瀬戸（セト） 孝則（タカノリ）	福島市長
	高橋（タカハシ） 迪夫（ミチオ）	日本大学　工学部 土木工学科　教授
副委員長	長林（ナガバヤシ） 久夫（ヒサオ）	日本大学　工学部 土木工学科　教授
	中村（ナカムラ） 玄正（ミチマサ）	日本大学　工学部 土木工学科　教授
	難波（ナンバ） 謙二（ケンジ）	福島大学 共生システム理工学類　助教授
	星（ホシ） 一彰（カズアキ）	福島県自然保護協会　会長
	真野（マノ） 明（アキラ）	東北大学大学院 工学研究科　教授
	虫明（ムシアケ） 功臣（カツミ）	福島大学 共生システム理工学類　教授

岩木川河川整備委員会　名簿（14名）

区　分	氏　　名	所　　属　　等
	小笠原（オガサワラ） 暠（コウ）	秋田大学　名誉教授
	相馬（ソウマ） 錩一（ショウイチ）	弘前市長
	川口（カワグチ） 紘（ヒロシ）	弘前工業高等学校　教諭
	北原（キタハラ） 啓司（ケイジ）	弘前大学　教育学部　教授
	工藤（クドウ） 明（アキラ）	弘前大学　農学生命科学部　教授
委員長	佐々木（ササキ） 幹夫（ミキオ）	八戸工業大学　工学部 環境建設工学科　教授
	佐原（サハラ） 雄二（ユウジ）	弘前大学　農学生命科学部　教授
副委員長	田中（タナカ） 重好（シゲヨシ）	名古屋大学　大学院 環境学研究科　教授
	成田（ナリタ） 静雄（シズオ）	青森県 内水面漁業協同組合連合会　副理事長
	鳴海（ナルミ） 広道（ヒロミチ）	黒石市長
	新戸部（ニトベ） 満男（ミツオ）	弘前商工会議所　会頭
	原田（ハラダ） 幸雄（ユキオ）	弘前大学　名誉教授
	福士（フクシ） 憲一（ケンイチ）	八戸工業大学　工学部 環境建設工学科　教授
	関（セキ） 和典（カズノリ）	西目屋村長
	盛（モリ） 貢（ミツグ）	岩木川地区土地改良区連合　理事長

鳴瀬川水系河川整備学識者懇談会　名簿（9名）

区　分	氏　　名	所　　属　　等
	泉（イズミ）　典（ノリ）　洋（ヒロ）	北海道大学　大学院　工学研究科　教授
	伊（イ）　藤（トウ）　康（ヤス）　志（シ）	大崎市長
	小（オ）　野（ノ）　泰（ヤス）　正（マサ）	岩手大学　名誉教授
副 座 長	風（カザ）　間（マ）　聡（ソウ）	東北大学　大学院　環境科学研究科　准教授
	加（カ）　藤（トウ）　徹（トオル）	宮城大学　食産業学部　環境システム学科　教授
	佐々木（ササキ）　豊（ユタカ）	宮城県植物の会
	高（タカ）　崎（サキ）　みつる	石巻専修大学　理工学部　生物生産工学科　教授
座　　長	田（タ）　中（ナカ）　仁（ヒトシ）	東北大学　大学院　工学研究科　教授
	星（ホシ）　明（アキ）　朗（オ）	加美町長

※　加美町長は整備計画策定時の町長で記載

河川整備計画とは

○河川法の三つの目的である「治水」「利水」「河川環境の保全」が総合的に達成できるよう配慮した計画。

○河川整備計画は、「河川整備基本方針」に基づいた河川整備の当面の目標であり、その対象期間は概ね３０年間とする。

○整備計画は、現時点の流域の社会状況・自然環境・河道状況に基づき策定されたものであり、策定後のこれらの状況の変化や新たな知見、技術の進歩などにより、適宜見直しを行っていく。

各水系【大臣管理区間】の河川整備計画策定経緯

水系名	基本方針策定日	学識経験者からの意見聴取	地域住民からの意見聴取		整備計画の策定	費用対効果B/C
			意見を聴く会の開催	意見数（閲覧コーナー、インターネット等含む）		
阿武隈川	平成16年1月26日	H18.3.26～H19.1.31　全5回 委員　１２名	7会場	２７６件	平成19年3月30日	1.34
岩木川	平成17年5月20日	H18.3. 2～H19.2.27　全5回 委員　１５名	4会場	８６件	平成19年3月30日	1.44
鳴瀬川	平成18年2月14日	H18.9.22～H19.5.10　全5回 委員　9名	5会場	１０２件	平成19年8月3日	3.77

※費用対効果は整備計画策定時点のものであり、今後、事業費等の変化に伴い、上下することがある。